

環境科学部
環境政策・計画学科
 Department of ENVIRONMENTAL POLICY AND PLANNING

”問題”を探せ。
 答えを探すな。

大学の枠組みを超えた出会いのなかに広がる好奇心。
 自分の知らなかった可能性を自覚できる場所。

文理問わずあらゆる観点から環境分野を学べるこの学科を志望しました。座学はもちろん、学科を越えて一緒に取り組むフィールドワークをはじめ、工場や博物館など現地で行われる講義など、大学の外で学べる機会が多いことはこの学科の大きな特徴だと思います。環境問題は国際的な問題ですが、私たちの身近な生活の中でも環境問題の被害はたくさんあります。将来はその地域住民の方たちと一緒に被害の改善を手助けできるような仕事をしたいです。大学は自分の行動次第で自分の可能性をいくらでも上げられる場所です。ぜひ、県大で自分の新しい可能性を見つけてください。県大でお待ちしています。

環境科学部 環境政策・計画学科 3回生
 久米 萌乃 さん / 岐阜県立岐阜高等学校出身

◎学びのステップ 〈4年間の学習フロー〉



“環境”で鍛えたチカラは、社会のどこでも通用する。

◎アドミッションポリシー

環境政策・計画学科では、環境と調和した社会を形成するために、社会を形成している企業、政府、市民の行動を環境調和型に変革していく人材を養成します。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

求める学生像

- ① 人間社会と自然環境の広い範囲にわたって関心を有する人(興味・関心・意欲)
- ② 環境政策や環境計画を学ぶ上で必要な国語・数学・英語・理科・地歴公民の基礎学力を有する人(知識・理解)
- ③ 見出された問題の解決に向けて論理的に思考できる基礎力を有する人(思考力・判断力)

◎学びのポイント

身近な地域課題から地球規模の環境問題について、文系と理系の多様な視点から総合的に学ぶことを通して、“幅広い視野で物事の見通しを立てることができる人”を育てる学習プログラムにしています。例えば、1回生から専門知識を学べるほか、教員1名につき学生4人程度の少人数の授業が中心で、丁寧な指導を受けられます。また、3回生以降は研究を進めるための研究室や1人1台のパソコンなど、学習環境を整えています。これらによって4年間で一人一人が考える力や社会で求められるスキルを伸ばすことができます。このようなプログラムを通して、具体的な進路を自分自身で設計することができます。そのため、卒業生の進路は公務員、企業の環境部門、環境コンサルタント、起業家、NPO、政治家、研究者などバラエティーに富んでいます。

Point

1 文理を問わず幅広い視野から環境に挑みます

環境政策・計画に関わる科目は、文系と理系の幅広い分野にわたります。文理双方の専門知識と方法論を学ぶことで、実社会で求められる総合的な力が身につきます。

Point

2 現場で役立つ実践的スキルを習得します

卒業後、幅広い分野や職種で活躍するためのデータ分析、マネジメント、場のデザイン、コミュニケーション等、現場で役立つ実践的なスキルが身につきます。また、社会調査士やGIS学術士などの資格を取得できる授業もあります。

Point

3 自分自身で課題を設定し、解決策を提案します

現場でのフィールドワークや行政職員・地域住民などへのヒアリング調査を実践することで実社会の課題を把握します。卒業研究では課題を解決するために社会で役立つ新しい知見を提供します。

◎教員スタッフとその専門分野

- 井手 慎司 教授 水環境管理、土壌環境システム、環境影響評価
- 香川 雄一 教授 人文地理学、環境地理学、都市社会地理学
- 金谷 健 教授 廃棄物管理論
- 上河原 献二 教授 環境法・環境政策
- 高橋 卓也 教授 環境経営、森林政策・計画、資源・環境経済
- 瀧 健太郎 准教授 流域政策・計画学、水工学、応用生態工学
- 林 宰司 准教授 環境経済学、環境政策論
- 村上 一真 准教授 開発経済学、環境経済学、行動経済学、地域経済・政策論
- 和田 有朗 准教授 環境政策、環境計画、環境システム、地域システム
- 小野 奈々 助教 環境社会学、地域社会学、NPO・NGO論
- 白木 裕斗 助教 エネルギーシステム学、環境システム学
- 平山 奈央子 助教 湖沼流域ガバナンス、水資源管理、住民参加、意思決定手法



環境科学部
環境政策・計画学科
高橋 卓也 教授

環境政策・計画学科 ってこんなところ

人間社会と環境との関係について、文理融合の立場から学びます。本やネットに頼るのではなく、琵琶湖の流域はもちろん、日本各地の集落や街、外国の水辺や集落、街などにじかに足を運び、そこで生活し、働く人々と対話するところから始めます。「答えを探さな。問題を探せ」これが、私たちのモットーです。



▲「フィリピンのごみ問題」に正面から立ち向かう(ごみ埋立地にて)

〈専門科目の例〉 講義・実習

環境経済学

環境経済学の基礎理論と、その環境政策への応用および、市場メカニズムと環境問題の発生、環境政策の経済的手法、環境の最適利用について学びます。

環境計画学

環境基本法を始め、国内外の環境計画に関する制度や最新の事例を通じ、社会と環境の調和を計画によって実現していくための手法を学びます。

環境法

環境法の対象としている環境問題、仕組み、形成・実施、見直しの過程について学びます。その範囲は、国の法律、自治体の条例、国際的条約を含みます。

廃棄物管理論

廃棄物を適正に管理するために必要な多方面の知識について講義し、受講者は興味ある課題についてグループ作成・調査し、発表します。

GIS演習

GIS(地理情報システム)は自然環境に関するだけでなく人間社会の空間情報を統合的に扱う技術です。この基本を学び、応用力をつけます。

環境マネジメント演習

企業の環境マネジメントに必要とされるスキルの実践に親しみます。主要問題の特定、解決策の提示・システム化のプロセスを体験します。

◎卒業研究

学生自ら探した「問題」をもとに卒業論文のテーマを決め、そのテーマにあった研究室で担当教員の指導を受けながら、さまざまな調査方法で研究を進めていきます。

研究 その1 環境にも体にもいい有機野菜、いくらなら買ってもらえる?

消費者は、有機野菜を「安全、新鮮、おいしい」とイメージしています。しかし、そのようなイメージがあるにもかかわらず、有機野菜の普及は一向に進みません。「なぜ売れないのか?」そして「いくらなら売れるのか?」について研究しました。

こんな調査をしました
実際の売り場で、消費者が有機野菜をいくらなら購入するかを調査(社会実験)



林 宰司 先生
環境経済学の専門家

研究 その2 放置自転車対策として地下に機械式駐輪場をつくりたい!

駅前の放置自転車対策として駐輪場の整備が求められていますが、大都市では駅前の地価が高く、駐輪場の設置は容易ではありません。そこで、先行事例を参考にして、駅前の地下に機械式駐輪場を作るための条件を、分析しました。

こんな調査をしました
東京で地下機械式駐輪場の実態を調査し、GIS(地理情報システム)を用いて、京阪神での設置可能性を検討しました。



香川 雄一 先生
都市社会地理学の専門家

研究 その3 カワト文化が残った要因と消えた要因を明らかにしたい!

滋賀県高島市新旭町太田地区では、いまだに多くの家が地下水や川の水を「カワト」と呼ばれる洗い場で使用しています。なぜ、カワトが残ったのか、また、一部の家ではつぶされたのか—それぞれの要因を探りました。

こんな調査をしました
周辺の区長さんなどに、現在でもカワトがある家、かつてあった家を一軒一軒回り、カワトの使用状況や使用目的、カワトをつぶした家にはいった理由を対面式で聞いてきました。



井手 慎司 先生
水環境管理の専門家

社会活動の紹介



地域課題に向き合う

滋賀県近江八幡市では高齢化によるヨシ刈りの担い手不足やヨシ産業の衰退などの課題を抱えています。このテーマについて、学生はヨシの利用方法や管理の在り方を分析しました。また、ヨシ群落の管理の一環としてヨシ刈りを体験しました。大切なのは「現場で地域の人と共に汗をかくこと」です。



※詳しくは (http://depp-usp.com/) をご覧ください。

◎進路状況 (2014~2016年度卒業生)

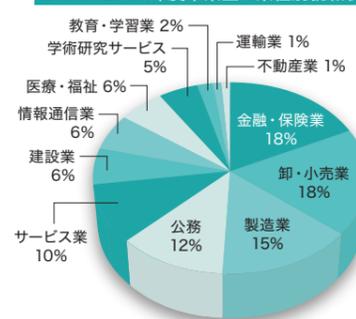
◆就職先

- 旭化成アドバンス(株)
- 綾羽(株)
- ㈱エヌ・ティ・ティ・データ
- ㈱大垣共立銀行
- 大阪商工信用金庫
- ㈱関西アーバン銀行
- ㈱かんてんエンジニアリング
- 岐阜信用金庫
- JAグリーン近江
- 湖東信用金庫
- ㈱GSIクレオス
- ㈱滋賀銀行
- ソフトバンク(株)
- ㈱ダイフク
- トヨタ車体(株)
- 野村證券(株)
- ㈱パロールホールディングス
- ㈱阪急交通社
- ㈱阪急阪神ホテルズ
- (株)東近江市社会福祉協議会
- JA兵庫六甲
- 富士通エフ・アイ・ピー(株)
- ㈱平和堂
- TOWA(株)
- ㈱パナホーム滋賀
- ㈱エイチ・アイ・エス
- ㈱ベネッセスタイルケア
- ㈱京都銀行
- 東建コーポレーション(株)
- ㈱村田製作所

◆進学先

- 滋賀県立大学大学院
- 名古屋大学大学院
- 京都大学大学院
- 鳥取大学大学院

2014~2016年度卒業生の業種別就職状況



取得可能な資格一覧*

- 教員免許: 高等学校教諭一種(公民)
- 学芸員資格
- 社会調査士資格
- GIS学術士資格
- 自然再生士補資格
- 地域調査士資格
- 社会福祉士主任任用資格

OB & OG Message

2014年度卒業
勤務先: 株式会社滋賀銀行
森本 忠喜さん



私は現在、滋賀銀行京都支店で住宅ローン商品を中心とした営業活動を行っております。金融激戦区である京都府において、競合他行が多いなか「しがぎん」を選んでいただくメリットがうまれるよう、お客様ひとりひとりに合ったローンのご提案をすることが私の仕事です。そのためには、「お客様を知る」ことがとても重要になりますが、それは単に収入状況などの定量面を把握するだけではありません。人物像などの定性面もあわせて「お客様を知る」必要があるのです。

県立大学では、現場スキルを培うカリキュラムが組まれています。例えばフィールドワークでは調査対象を直接観察し、関係者にヒアリングを行い、現場で何が起きているのかを把握する能力が身に付きました。銀行においては、法人の決算書や個人の確定申告書を読み解く機会が多くありますが、それにより生まれるのはあくまで「仮説」に過ぎません。仮説を検証するためには、本人にヒアリングを行ったり、現地調査をする他ないのです。「お客様を知る」ための能力育成において、県立大学のカリキュラムは大いに役立ったものと考えています。

(2017年1月現在)

CAMPUS LIFE ONE DAY 県大生の日



1日のスケジュール

- 8:30 通学
- 9:00 1限: 水環境政策論
- 10:40 2限: 廃棄物管理論
- 12:10 昼休み
- 13:10 3限: 地域調査法演習
- 14:50 4限: レポート課題を実施
- 16:30 5限: 政策計画演習(卒論)
- 18:00 課外活動



水資源管理や琵琶湖の政策について学びます。



地域での調査設計やサンプリングの方法などを実践的に学びます。



テーマを自分自身で決定し、1年半じっくりと卒業研究に取り組みます。



友達と一緒に環境関連のサークルや湖風祭実行委員などの活動を楽しみます。